

記入例

高齢者日常生活用具貸与申請書

年 月 日

(宛先) 三条市長

申請者 住 所 三条市旭町二丁目3番1号
 氏 名 三条 太郎 三
条
 電話番号 34-5511

次のとおり申請します。

対 象 者	住 所	<input type="checkbox"/> 申請者に同じ <input type="checkbox"/> 申請者と異なる場合 ()						
	氏 名	<input type="checkbox"/> 申請者に同じ <input type="checkbox"/> 申請者と異なる場合 ()			個人番号	●●●●●●●●●●●●●●●●		
	生年月日	明・大 昭・平	●年●月●日 (●●歳)	性 別	<input checked="" type="radio"/> 男 ・ 女			
	電話番号	<input type="checkbox"/> 申請者に同じ <input type="checkbox"/> 申請者と異なる場合 ()						
対 象 者 の 区 分		<input type="checkbox"/> (1) ひとり暮らしの高齢者 <input checked="" type="checkbox"/> (2) 高齢者のみの世帯に属する者						
貸 与 希 望 用 具		<input type="checkbox"/> 福祉電話 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急通報装置						
世 帯 員 の 状 況 ※生計中心 者に○を付 けてくださ い。	対象者との続柄	氏 名	生年 月日	個人番号			生計 中心者	備考・連絡先
	本人	三条 太郎	S●年 ●月●日	●●●●●●●●●●●●●●●●			○	
	妻	三条 花子	S●年 ●月●日	●●●●●●●●●●●●●●●●				

三条市記入欄

・緊急時に駆け付け等を依頼する必要があるため、なるべく3件記入して下さい。

【緊急通報装置】

・連絡から早急（約30分以内）に駆け付けて頂く必要がありますので市内の方を2件以上としていますが、短時間で駆け付け可能であれば市外の方でも御登録いただけます。

対象者

三条 太郎

緊急連絡先

・緊急時の連絡先として3件記入してください。（そのうち2件以上は市内の方としてください。）

・連絡先の方へ了解を得てから記入してください。

順位	フリガナ		続柄	住所	電話番号
	氏名				
1	サンジヨウ イチロウ		長男	三条市旭町〇-〇	0256-00-0000 携帯電話 090-0000-0000
	三条 一郎				
2	サンジヨウ ハナ		友人	三条市旭町〇-〇	0256-00-0000
	三条 花				
3	サンジヨウ ハジメ		親戚	加茂市	携帯電話 090-0000-0000
	三条 一				

かかりつけの病院	電話番号	備考
〇〇病院	〇〇 - 〇〇〇〇	

緊急時、内鍵がかかっていた場合でも、速やかに安否確認ができるように、緊急連絡先に合鍵を預けてください。

※鍵預かり ⇒ 有 無

特記事項

～次のような点を「特記事項」に記入してください～

- ・ 鍵預かり人の氏名
- ・ 取付工事のときの立会が必要な場合は、立会人の氏名
- ・ 持病、最近かかった病気など

契約書は2通作成し、2通とも提出してください。

三条市高齢者日常生活用具貸借契約書

【緊急通報装置】

貸付人三条市（以下「甲」という。）と借受人 三条太郎（以下「乙」という。）

との間に三条市高齢者生活支援事業実施要綱に基づき、次の条項により日常生活用具（以下「用具」という。）の貸借契約を締結する。

（貸与物件）

第1条 甲は、次に掲げる用具を乙に貸与する。

生活用具	規 格	数量
緊急通報装置		1

（貸与期間）

第2条 甲が用具を貸与する期間は、乙が引渡しを受けた日から、当該用具を使用する対象者が用具の貸与対象者でなくなるか、又は用具を必要としなくなるまでの間とする。

（費用の負担）

第3条 乙は、その負担能力に応じて、用具の使用に係る費用の一部を負担するものとし、その負担する費用は、高齢者日常生活用具貸与決定通知書の通りとする。

（使用上の注意）

第4条 乙は、常に善良な管理の注意をもって貸与された用具の維持管理をしなければならない。

2 乙は、当該用具を他の目的に使用し、譲渡し、交換し、貸し付け又は担保にしてはならない。

（届出）

第5条 乙は、次の各号のいずれかに該当するときは、速やかに甲に申し出て、その指示に従わなければならない。

- （1）用具の全部又は一部をき損し、又は滅失したとき。
- （2）乙及び対象者の住所又は氏名の変更があったとき。
- （3）用具の貸与対象者に該当しなくなったとき。
- （4）対象者が用具を必要としなくなったとき。

（返還）

第6条 甲は、乙が本契約の条項に違反したときは、用具の返還を命ずることができる。
上記契約の締結を証するために、本契約書2通を作成し、各自1通を保有する。

年 月 日

甲 貸付人 三条市旭町二丁目3番1号

三条市

代表者 三条市長 國定 勇 人

乙 借受人 住所 三条市 旭町2丁目3番1号

氏名 三条 太郎

印

三
条